

学科試験の問題及び解答についてのお問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください。
なお、合否結果は、2026年2月に発表し、本人に通知いたします。

2025年度 技能検定 ハウスクリーニング職種 学科試験問題

- 問 1. ハウスクリーニングという言葉がわが国で広く知られるようになったのは、高度成長期にあたる 2000 年以降になってからである。
- 問 2. 2023 年度における第三次産業の業種別労働災害発生状況によると、最も多いのは小売業であり、次いで飲食業、ビルメンテナンス業などの清掃・と畜業は、第三位で多く占めている。
- 問 3. カビ汚れが発生しやすい環境として、温度 10℃程度、湿度 80%程度、汚れなどの栄養分が多いなどの条件がある。
- 問 4. 界面活性剤の作用には、表面張力の増加作用、浸透・湿潤作用、乳化作用、分散作用、ミセル形成作用がある。
- 問 5. 事故には、人的原因による不安全な状態と、物的原因による不安全な行動とが組み合わされて発生する場合がある。
- 問 6. メラビアンの法則とは、どんな情報に基づいて印象が決定されるのかを検証したもので、視覚情報（Visual）、聴覚情報（Vocal）、言語情報（Verbal）の頭文字を取って命名された「3V の法則」が知られている。
- 問 7. トイレの清掃作業で、尿石除去剤は強アルカリ性であるため、保護手袋を使って作業した。
- 問 8. セラミックタイルは陶磁器でできた床材であり、素焼きの質感を活かしたマット（光沢がない）なもの、鏡面仕上げされた美しい光沢をもつものまで様々ある。
- 問 9. ハウスクリーニングでは、消臭対策、防汚コーティング、補修・修理などの付加価値を有する作業を提供する場合もある。

- 問 10. 繊維系の素材には、ナイロンやポリプロピレンなどの天然素材や、ウールや綿などの合成繊維でできているものがある。
- 問 11. 清掃には、衛生的環境の確保、美観性の向上、安全性の確保、保全性の向上という 4 つの大きな目的がある。
- 問 12. 作業計画を作成する際は「現場別作業計画」「月間作業計画」の 2 パターンで考える。
- 問 13. 鉄筋コンクリート造（RC 構造）は、コンクリートの中に鉄筋を入れることで鉄筋とコンクリートの互いの弱点を補完しあい、圧縮にも引っ張りにも強い構造が特長である。
- 問 14. カーペットに用いられる繊維のうち、「レーヨン」とは、羊の毛を使用したものであり、吸湿性が良く通気性と保温性に富み、手触りが良い特長を持つ。
- 問 15. リスクの事前調査を行うことをリスクアセスメントという。
- 問 16. 防カビ対策において、夏は断熱対策、冬は除湿対策が基本となっている。
- 問 17. 「複層ガラス」とは、2 枚のガラスの中間層に乾燥空気を閉じ込め、断熱性を高めたもので、遮音効果も向上し結露が生じにくいなどの効果がある。
- 問 18. 顧客最優先を心がけ、年下の顧客に対しても同僚と同じような言葉遣いはしないなど、礼儀と節度をもって接することが大切である。
- 問 19. 縦に長い本体と、床面の吸い込み口が一体化した形状の掃除機をキャニスター型掃除機という。
- 問 20. リビングルームのフローリング床には、綿パッドクリーニングが適している。
- 問 21. 汚れとは、住居を構成する各部分の表面に付着し、汚染している異物（付着異物）のことを指し、素材のきずや変色などは汚れとは呼ばない。

- 問 22. 仕様書は、依頼内容や要望を整理し、作業内容を具体的にまとめたものである。
作業範囲、作業対象、作業内容を明確にすることがポイントとなる。
- 問 23. ネットスポンジは、発泡ウレタンスポンジに、不織布パッドを貼り合わせて作られている。
- 問 24. 感染は、感染源、感染経路、感受性宿主の 3 つ要素が揃わない限り、発生しない。
- 問 25. 間取りの略称として、LDK とは、「ダイニングキッチン」のことであり、キッチン（台所）とダイニング（食卓）の機能が共存する部屋のことを指す。
- 問 26. 顧客からのクレームのひとつに「におい」がある。柔軟剤を使う場合は、においがきついモノを使用したほうがよい。
- 問 27. 浴槽の清掃作業で、皮脂汚れに対して、クエン酸を使用した。
- 問 28. 吸着剤を含浸させたクロスは吸水クロスという。
- 問 29. お客様を満足させるマナーは生まれつき備わっているものではなく、日頃からの自己研鑽で身につくものである。
- 問 30. 異なる洗剤を混ぜて使用すると、相乗効果により洗浄力が高まる場合があるので、状況に応じて混ぜ合わせて使用してもよい。
- 問 31. 要点をしっかりと押さえたマナーの行き届いたメールは、顧客とのやり取りを記録できるメリットもあり、好印象である。
- 問 32. 「複合フローリング」とは、近年住宅の床に多く使用されている仕上げ材で、無垢板など一つの材で構成されたフローリングである。
- 問 33. 洗面台の清掃作業で、鏡のウロコ状の水垢に対して、クエン酸を使用した。
- 問 34. ハウスクリーニングの製品である作業結果は、無形で一過性、作業条件が不均一などの特殊性があるため、品質の向上を意識し、常に一定の快適かつ安全な環境を提供できるよう品質管理とその向上が不可欠である。

- 問 35. 界面活性剤は、1 個の分子の中に水と親しい部分（親水基）と、油と親しい部分（親油基・疎水基）を持つ化合物で、洗剤の主成分として使用されている。
- 問 36. 床洗浄後の汚水回収に使用するものをハンドスクイジーという。
- 問 37. 木造住宅の「軸組工法」は、柱、梁（はり）、桁（けた）などの軸組に水平面の変形を防ぐため、斜めにかけ渡す筋交い（すじかい）を用いる架構式構造が特徴である。
- 問 38. トラブルを未然に防ぐために顧客との間で見積書を取り交わし、さらには作業に伴う損害が生じた場合に備え、事故賠償責任保険に加入することが重要である。
- 問 39. 陶磁器系の素材とは、粘土を焼成して作られた素材で、その作られ方により「陶器」「磁器」などに分類される。トイレの便器やセラミックタイル床は、その代表的なものである。
- 問 40. pH は「水溶液中の水素イオン濃度」を表したもので、5 が中性であり、10 より数値が小さくなると「酸性」、大きくなると「アルカリ性」となる。
- 問 41. 化学モップは、フラッシュモップともいう。
- 問 42. ガラスや鏡に付着した水アカ、トイレの便器に付着した尿石などは、素材に対し化学的な結合で付着しているため、「酸で分解する」「研磨剤で削り落とす」等の方法で除去するが、対象物の素材を傷めることがあるので注意しなければならない。
- 問 43. 作業計画は、作業管理の向上、労務管理・資機材管理の向上、責任所在の明確化、作業改善・作業結果の向上のメリットがあるが、顧客サービスの向上は含まれない。
- 問 44. 洗剤の種類のうち「酸性洗剤」は、成分としてアルカリ剤が配合されており、油脂系汚れを効果的に分解する特長があり、レンジ周りなど様々な用途に使用される。
- 問 45. カビ取り剤は、塩酸を主成分とした「塩素系漂白剤」に分類される。カビの殺菌効果に加え、漂白効果もあるので、カビの色素も漂白することができる。

- 問 46. 人に寄生するダニ類で、カイセン症を起こすのは、ヒゼンダニである。
- 問 47. 油脂性物質の汚れには、泥汚れ、コーヒー、お茶などによるものがあり、これらは水に溶解または分散しやすいため、水や洗剤を用いた方法で比較的容易に除去される。
- 問 48. ピンクぬめりとは浴室や洗面台の排水口や蛇口まわりなどに発生するピンク色の汚れであり、赤色酵母（ロドトルラと呼ばれる酵母菌）が原因である。
- 問 49. 洗剤を使用する際は、使用状況に応じ保護用の手袋やメガネ、マスクなどを着用する。特にアルカリ性や酸性の強い洗剤を使用する際は必ず着用しなければならない。
- 問 50. 採用時の安全教育の実施について 2024 年度から、ハウスクリーニング業においてもパート・アルバイト含め法律で義務化された。

学科試験の問題及び解答についてのお問い合わせには一切お答えできませんので予めご了承ください。
なお、合否結果は 2026 年 2 月に発表し、本人に通知いたします。

2025 年度 技能検定 ハウスクリーニング職種 学科試験解答

問題	解答	問題	解答	問題	解答	問題	解答	問題	解答
問 1	誤	問 11	正	問 21	正	問 31	正	問 41	誤
問 2	誤	問 12	正	問 22	正	問 32	誤	問 42	正
問 3	誤	問 13	正	問 23	誤	問 33	正	問 43	誤
問 4	誤	問 14	誤	問 24	正	問 34	正	問 44	誤
問 5	誤	問 15	正	問 25	誤	問 35	正	問 45	誤
問 6	正	問 16	誤	問 26	誤	問 36	誤	問 46	正
問 7	誤	問 17	正	問 27	誤	問 37	正	問 47	誤
問 8	正	問 18	正	問 28	誤	問 38	誤	問 48	正
問 9	正	問 19	誤	問 29	正	問 39	正	問 49	正
問 10	誤	問 20	誤	問 30	誤	問 40	誤	問 50	正